

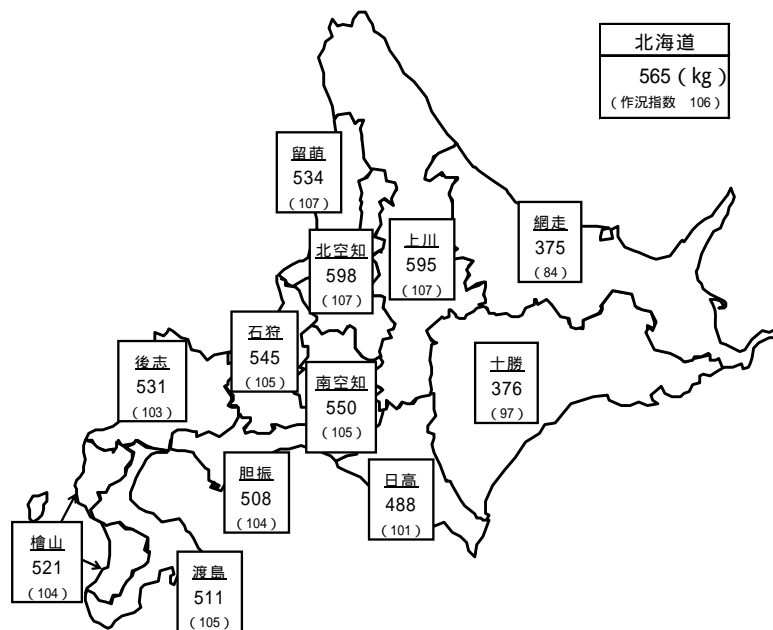
## 平成20年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 (北海道)

- 10 a 当たり予想収量は565kg ( 作況指数 106 ) の見込み -

### 【調査結果の概要】

- 1 北海道における平成20年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む)は11万4,600haで、前年産に比べて1,500ha(1%)の減少が見込まれる。  
うち、主食用作付見込面積は、11万900haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、10 a 当たり予想収量565kg(作況指数106)が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は62万6,600 t が見込まれる。

図 作柄表示地帯別10 a 当たり予想収量(9月15日現在)



平成20年産水稻作付面積及び9月15日現在の10 a 当たり予想収量(北海道)

区分	作付面積 (青刈り面積を含む)			10 a 当たり 予想収量	(参考)			
	前年産との比較				主食用作付 見込面積	予想収穫量 (主食用) = ×	10 a 当たり 平年収量	作 況 指 数 = /
	対差	対比	%					
北海道	ha 114 600	ha 1 500	% 99	kg 565	ha 110 900	t 626 600	kg 534	106

注：青刈りには、稲発酵粗飼料(ホールクロップサイレージ)、わら専用稲等を含む。

主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む)から、生産調整カウントとなる米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積(見込み)である。

作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

## 【調査結果】

### 1 作付面積

平成20年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は11万4,600haで、前年産に比べて1,500ha（1%）の減少が見込まれる。

これは、生産調整等により他作物への転換等があったためである。

なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）を除いた主食用作付見込面積は、11万900haが見込まれる。

### 2 作柄の概況

9月15日現在における北海道の水稻の作柄は、10a当たり予想収量565kg（作況指数106）が見込まれる。

これは、穂数が田植後の低温により分けつが抑制されたこと等から平年に比べやや少ないものの、1穂当たりもみ数は7月上中旬が高温で経過したこと等から多く、全もみ数が平年に比べて多くなった。

登熟は、8月中下旬の低温により一時停滞したものの、その後の高温・多照により順調に推移していることから、不稔が平年に比べて少なく、平年並みが見込まれるためである。

なお、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は62万6,600tが見込まれる。

## 【統計表】

平成20年産水稻の作付面積、9月15日現在の10a当たり予想収量及び作柄概況  
（作柄表示地帯別）

区 分	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)			10a当たり 予想収量	( 参 考 )		穂 数 の 多 少	1穂当たり もみ 数 の 多 少	全もみ数 の 多 少	登 熟 の 良 否
	前年産との比較				10a当たり 平年収量	作況 指数				
	対 差	対 比								
	ha	ha	%	kg	kg	= /	( 平 年 比 較 )			
北 海 道	114 600	1 500	99	565	534	106	やや少ない	多 い	多 い	平年並み
石 狩	7 900	120	99	545	517	105	平年並み	多 い	多 い	平年並み
南空知	23 900	400	98	550	525	105	平年並み	多 い	多 い	平年並み
北空知	28 600	200	99	598	557	107	平年並み	多 い	多 い	平年並み
上 川	30 300	200	99	595	554	107	やや少ない	多 い	やや多い	やや良
留 萌	4 630	70	99	534	498	107	少ない	多 い	多 い	やや不良
渡 島	3 020	30	99	511	486	105	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
檜 山	4 230	60	99	521	500	104	少ない	多 い	平年並み	やや良
後 志	4 980	50	99	531	517	103	少ない	多 い	平年並み	平年並み
胆 振	3 930	20	99	508	488	104	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
日 高	1 820	130	93	488	484	101	少ない	多 い	やや多い	やや不良
十 勝	17	2	89	376	386	97	少ない	多 い	やや多い	やや不良
網 走	1 330	90	94	375	447	84	やや少ない	多 い	多 い	不良

注：1）ラウンドの関係で、計と内訳が一致しないことがある。

2）表中の「」は減少を示す。

#### 水稻調査結果の利活用

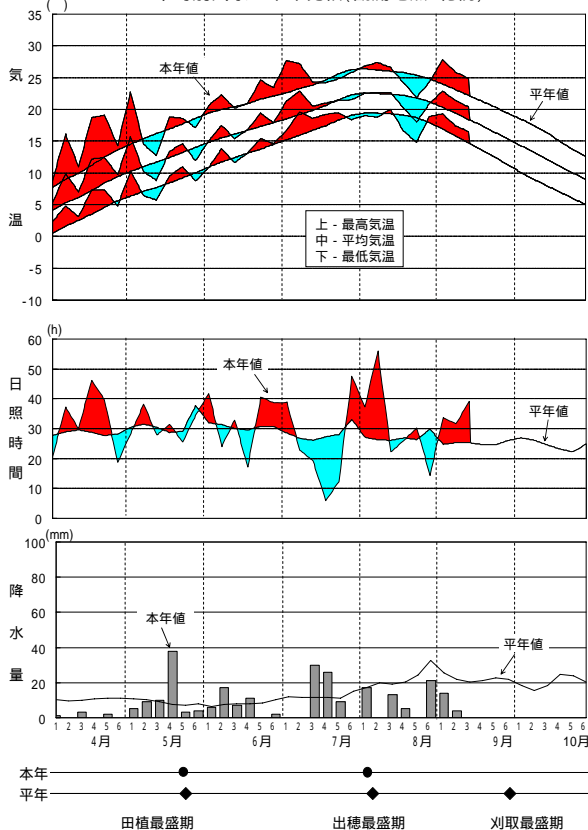
- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための基礎資料
- ・ 集荷円滑化対策において、過剰米数量算出の必要性の判断及び豊作時の過剰米数量算出のための基礎資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の策定及び達成状況の確認のための基礎資料
- ・ 農業災害補償法に基づく農作物共済事業において共済基準収穫量算定のための基礎資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料

# 【関連するデータ、情報】

## 1 気象経過と生育ステージ（主な観測地点）

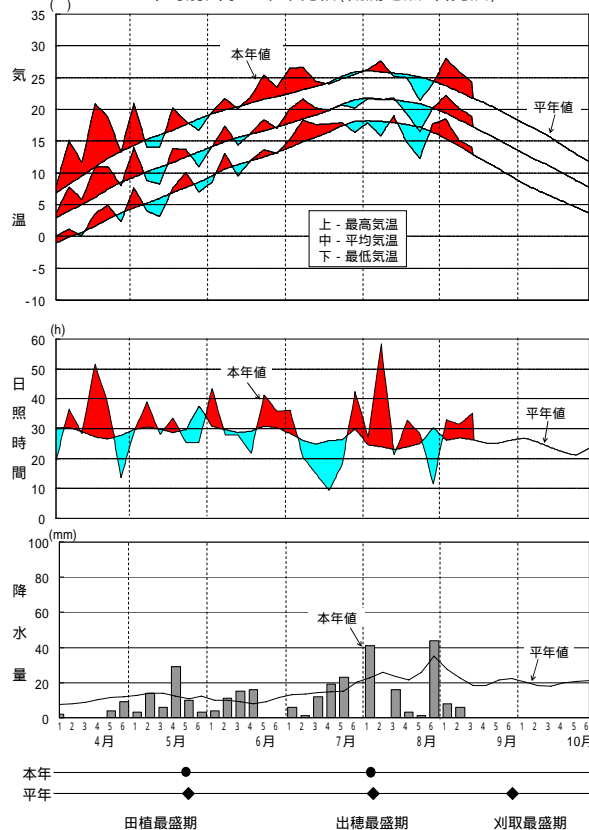
### 石 狩

半旬別気象の平年比較（観測地点：札幌）



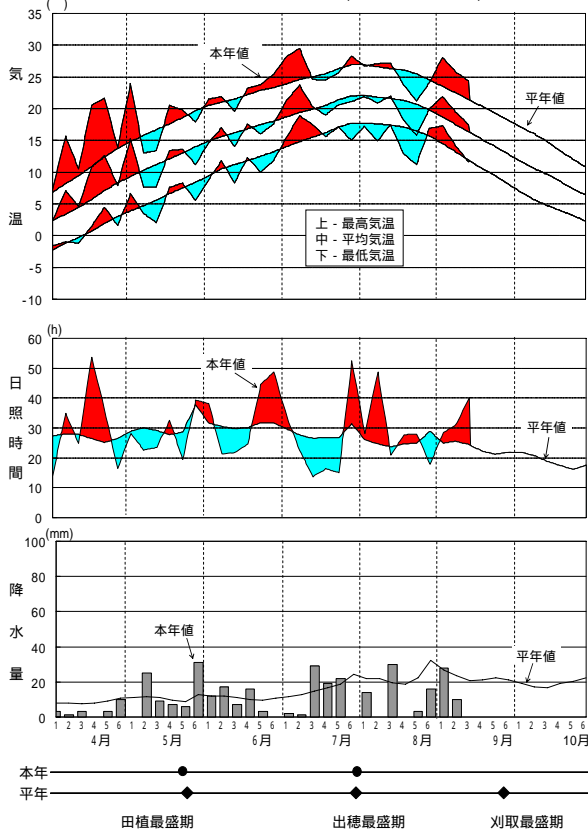
### 南 空 知

半旬別気象の平年比較（観測地点：岩見沢）



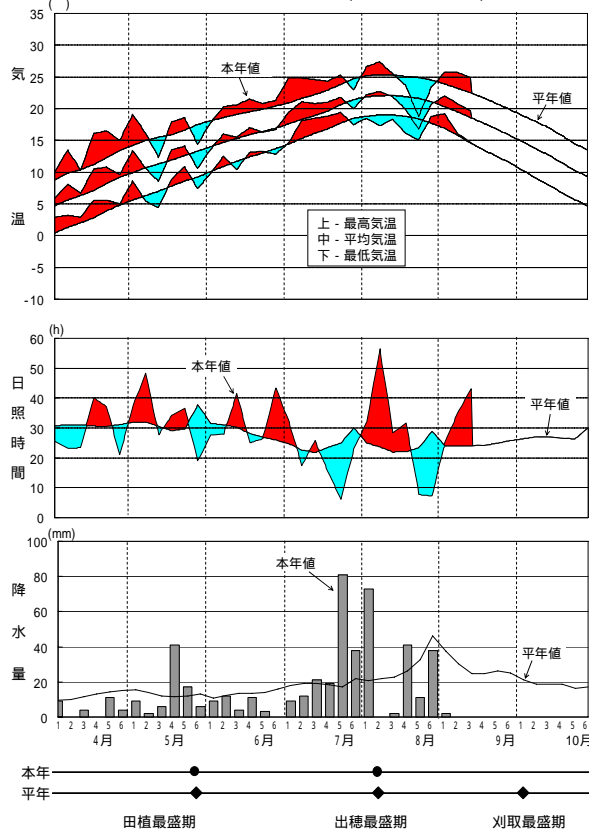
### 上 川

半旬別気象の平年比較（観測地点：旭川）



### 渡 島

半旬別気象の平年比較（観測地点：函館）



資料：「アメダス気象データ」

## 2 水稲の年次別推移（北海道）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)		10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当 たり 平 年 収 量
	うち、子実用	うち、子実用				
	ha	ha	kg	t		kg
平成 10	141 700	141 700	536	759 800	105	509
11	138 500	138 500	534	739 200	103	516
12	134 900	134 900	540	729 100	103	526
13	123 100	122 000	526	642 100	100	526
14	121 000	120 200	482	579 800	91	528
15	117 900	117 800	385	454 000	73	528
16	120 500	120 500	518	623 900	98	528
17	119 100	119 100	573	682 600	109	528
18	115 500	115 400	558	643 900	105	530
19	116 100	116 000	520	603 200	98	532

### 【調査の概要】

#### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

#### 2 調査対象数

- (1) 作付面積調査 標本単位区：1,601単位区 巡回・見積り：180市町村  
 (2) 作柄概況調査 作況標本筆：630筆 作況基準筆：53筆  
 巡回・見積り：180市町村

#### 3 調査事項

水稲の作付面積、は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況。

#### 4 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在  
 (2) 作柄概況調査：9月15日現在

#### 5 調査方法

- (1) 作付面積調査  
 調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。  
 (2) 作柄概況調査  
 調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

#### 6 集計方法

- (1) 作付面積調査  
 対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。  
 (2) 作柄概況調査  
 調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

#### 7 用語の解説

- (1) 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。  
 なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

- (2)「穂数の多少」は、1 m<sup>2</sup>当たりのすべての穂数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3)「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4)「全もみ数の多少」とは、1 m<sup>2</sup>当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。(全もみ数 = 穂数 × 1穂当たりもみ数)
- (5)「登熟の良否」とは、登熟(稔実、粒の肥大、粒の充実)が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (6)上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- (7)作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- (8)10 a 当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

## 8 作柄表示地帯

北海道における作柄表示地帯は、下表のとおりである。

作柄表示地帯	対象地域
石 狩	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、石狩支庁管内
南 空 知	夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、空知支庁管内のうち南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町
北 空 知	芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、空知支庁管内のうち奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、幌加内町
上 川	旭川市、士別市、名寄市、富良野市、上川支庁管内、稚内市、宗谷支庁管内、留萌支庁管内のうち天塩町、幌延町
留 萌	留萌市、留萌支庁管内のうち増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町
渡 島	函館市、北斗市、渡島支庁管内
檜 山	檜山支庁管内
後 志	小樽市、後志支庁管内
胆 振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、胆振支庁管内
日 高	日高支庁管内
十 勝	帯広市、十勝支庁管内、釧路市、釧路支庁管内
網 走	北見市、網走市、紋別市、網走支庁管内、根室市、根室支庁管内

## 9 その他

統計数値については、以下の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1 000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた(下から)		3けた	2けた		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

## 10 利用上の注意

本調査(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果は、北海道農政事務所ホームページ「統計部」「農林水産統計」に掲載しています。

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html>

### 【問い合わせ先】

農林水産省 北海道農政事務所 統計部

本公表資料に関する問い合わせ先

生産流通消費統計課 生産統計第2係

電話：(011) 642 - 5619 (ダイヤルイン)

その他農林水産統計資料に関する問い合わせ先

統計企画課 企画係

電話：(011) 642 - 5609 (ダイヤルイン)